

「きゃー!」「冷たい!」、青空の下、子どもたちの黄色い声が響きます。田植えに挑 んだ5年生の子どもたち、田んぼに足を踏み入れ、その土の感触にびっくりです。思う ように足が動かせない、バランスが取れない、転びそう、子どもたちの四苦八苦する姿 がありました。

整然と手植えしていくことの難しさを感じつつ、いつしか泥の感触や匂いを心地よく 感じているようでした。さすが佐々木の子どもたち。

この体験は、わずかな時間でも、ずっと子どもたちの心の中に宝ものとして残されていくことでしょう。

運動会が終わった後、学校では、毎日のように様々な体験活動を行っています。体験は宝もの、6月は、そんな宝ものをもっともっと増やしていきます。